

幸田中学校区 特別支援学級交流会を通して

2 4 1 2 1 2

幸田中学校区の特別支援学級交流会が開催されました。幸中学区の3つの小学校の特別支援学級に在籍、または幸中学区に住んでいて他の学校に通っている仲間（中央小学校26人、荻谷小学校12人、豊坂小学校7人、みあい特別支援学校3人、岡崎特別支援学校1名）が一堂に集まって交流しました。また、その家族の方や、それぞれの学校の校長先生や先生方も来校してくださり、とてもにぎやかな集まりになりました。

会全体を通して、この日に向けてお互いの交流を深めようと、それぞれの学校でしっかりとゲームの準備をしてきたことが伝わってきました。幸中の8・9・10組のみんなも、学校紹介の動画の作成、王様じゃんけんゲームの準備と王冠づくり、お土産用のアイロンビーズの作成など、小学生を迎える立場、楽しんでもらう側としての準備をしっかりとしてくれていました。また、全体の司会者として臨機応変にアナウンスしたり、困っている子に優しい言葉をかけて助けてあげたりする姿も見られました。そして、小学校の校長先生が、ある幸中生を見て、「ゲームで『小学生と競争しとっちゃいかんもんなあ』と言いながら、小学生に譲る姿を見て、あの子がこんなことを言うようになるなんて、成長したなあと思った。」と言ってみえました。

会の終わりに今日の感想を参加した小学生に聞いたところ、次から次への手が挙がり、多くの子が口々に「楽しかった」と自分の思いを伝えていました。参加した子にとって満足するものだったことが、その様子から伝わってきました。また、参観してみえた保護者の方も嬉しそうに観ておられて、いい時間になったと感じました。幸中の多くの先生方も、交流会の様子を観に来てくださり、来年以降に本校に入学してくるこの様子や、8・9・10組の生徒たちが頑張る姿を観てくださっていました。



交流会の様子
(王様じゃんけんゲーム)